



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第26号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年10月12日(火)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成

【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校

【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



中



今日は、後期始業式でした。

今日は、後期始業式でした。今回も残念ながらリモートでの開催となりました。次回の行事こそは、体育館に全生徒が集まって実施したいものです。

さて、始業式では、各学年・生徒会の代表による「後期の決意」が堂々と述べられ、後期にかける思いが伝わりました。

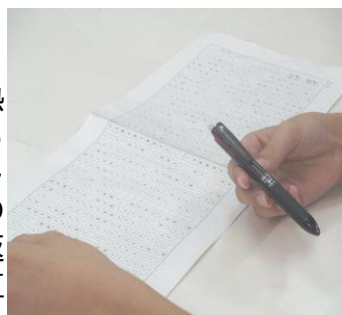
1年生代表の福田悠大さんは、ステップアップするための3つの大事なことを発表しました。1つ目は、「予習復習の実施」2つ目は「人を傷つける言葉を言わないで、皆が安心・安全に過ごせる学年・学級」、3つ目に「部活動で頼りにされる存在になる」という力強い決意が述べられました。

2年生代表の高尾和明さんは、学習面では、「家庭学習への取組や授業への臨み方をよくしていきたい」、生活面では、「提出物の期限や言葉遣いに気をつけたい」との決意を述べました。最後に、生徒会選挙などもあるので、後輩のお手本となるようにしたいと力強く発表しました。

3年生代表の稲津翠莉さんが、3年生として頑張りたい3つのことを発表しました。1つ目は、「受験生としての勉強の取組」、2つ目は、「生活面の見直し」、3つ目は「新しいことにチャレンジする」でした。最後に、「3年生全体の気持ちを切り替えて、受験モードになって、しっかりと学校生活を送る」と力強く締めくくりました。

生徒会は、保体部長の前田和令さんが代表の予定でしたが、ご家庭の事情で急なお休みになったので、急遽**松瀬彰博会長**がピンチヒッターを務めてくれました。学習面では、「自学の提出率を100%にする」「3分前着席を徹底する」の2点が、生活面では、「他の人に迷惑をかけない生活をしてほしい」「新型コロナウイルス感染対策の継続をする」と堂々と述べました。そして、最後に「吉井中の課題点を改善し、前期よりさらにレベルアップした吉井中にしていこう」と全生徒に力強く呼びかけました。

どの代表者の言葉にも、後期の学校生活にける熱い思いや強い決意が感じられ、大変うれしく思いました。節目節目にそれまでの自分(学校全体)を振り返り、新しい目標を設定し直



していくことはとても大切なことです。仕事の上では**P D C Aサイクル**〔Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善)の頭文字を取ったものです〕がとても重要視されてます。計画を立て、実行に移したら、必ず成果と課題をチェックし、さらに成果が上がるように改善を重ね、また計画を練り直していくというサイクルです。

P D C Aサイクルの考え方や取組を、受験勉強や部活動強化など、日々の生活の中に取り入れてみたらどうでしょうか。目標達成のための課題や工夫点が見えてくるかもしれませんよ。

私からは、「**考動力**」のさらなる継続と充実、本物にしてほしいという話をしました。前期終業式に述べたように、4月から比べて、生徒の皆さんには確実に「考動力」が付き、学校生活がかなり落ち着いてきました。このことを吉井中の先生方が喜びを感じていることも伝えました。節目である後期のスタートに当たり、「**心機一転**」し、前期からの望ましい行動は継続し、課題となる点は改善に向けて少しずつ努力をしてほしいと願っています。そして新たに、学校生活が落ち着き、何にでも本気で頑張れる今の吉井中の雰囲気だからこそ「**限界にチャレンジしてほしい**」ということで、「**Challenge Your limits!**」の言葉を伝えました。自分で限界をつくらず、若い今こそ「**No limit**」の姿勢であってほしいと強く願っています。

同様の意味で英語には「**The sky is the limit.**」(**可能性は無限だ!**)という格好いい表現もあるそうです。空は無限であるということから、限界なんてないんだ!という意味になるそうです。

どうぞ、吉井中の皆さん、自分の限界を突破し、自分の夢やあこがれ、志に向けてしっかりと汗をかき(時には涙を流し)、頑張りが続けられる人であってほしいと心から期待しています。がんばれ吉井っ子!

後期の今日がそのスタートラインです!

※生徒代表の「後期の決意」は、第27号に全文掲載します。

※第25号では数か所訂正がありました。新しいものを本日配付しました。



自分の限界を設定しない。



自分の限界を設定しているのは、自分自身であると気づく。

「どうせ、私はこれくらいだ。」というセルフイメージは、本当にそのような人生を創り上げる。もしも、

このセルフイメージを更新し、バージョンアップすることができたら、人生はさらに拡大していくことができる。そんな自分のセルフイメージ、できないと言うイメージはどこからやってきたのだろうか。それは、その時々に見れる他者の言葉によって、強化される。

「そんな簡単なことじゃないわよ。」

「誰もやっていない前例がないのに、できるわけないよ。」

「もし、〇〇なことがあったらどうするの。」
そう言う言葉によって、人は容易に諦めていく。

しかし、子供の頃に体験した、ワクワクする感覚を、どうしても忘れられない自分がいる。そして、結局のところ、諦めていたのは、他者からのアドバイスによってではなく、自分自身であることに気づくのだ。



諦めた方が、新しいチャレンジをしなくて済むので、結果的に自分が楽だからだ。

自分の人生を自分で歩みたかったら、自分の壁をとっばらって、やりたいことにチャレンジし、なりたい自分になろう。

他者からの言葉による思い込みを外していこう。あなたの心の声に耳をすませてほしい。やりたいこと、なりたい自分とは何だろうか。心の本当の声を大切にしてみよう。

〔NPO 法人ぐんま Holistic Health College 代表
さやかクリニック院長 関根 沙耶花 より〕

新型コロナワクチン接種について

佐世保市でも中学校年代（12歳～15歳）への新型コロナワクチン接種が行われています。それに伴い、以下のことをお知らせください。

①接種に伴う、欠席や遅刻・早退などは、そのままの取扱いとはしないなどの措置を講じますので、遠慮なくご相談ください。

②接種後の副反応であるに関わらず、発熱などの風邪の症状が見られた場合の「欠席」は、「出席停止」として取扱います。

③接種後の激しい運動などは避けるようにとの指示がおりますので、接種した日の「体育の授業」や「部活動」は見学となる場合もあります。



生徒会活動より…少し考えよう！

生徒会では、各専門部がそれぞれ独自の活動も行っています。例えば、学習部の「3分前着席チェック」や美化部の「タブレット返却チェック」などです。そんな専門部の活動に関する考えさせられる、放送が本日の昼食時に行われたのでその内容をお知らせします。

◆生活部「先週金曜日にシューズの持ち帰りの放送をしましたが、各クラス持って帰っていない人が数名いました。3年生5名、2年生5名、1年生8名でした。放置しておくのは清潔ではないので、生活部もしっかり呼びかけをして、必ず持ち帰るようにしてください。」



■給食部「ハンカチ・ティッシュ調査の結果を発表します。1位1-1、2位3-2、3位3-1…●-●はチェック表をもってこなかったため発表できません。全体的に持ってきている人が多かったです。次からは全員もってくることを目指し一人一人が心がけましょう。」

吉井中の生徒会は、とてもよい取組をたくさんしています。そして、担当者は昼休みや放課後に少しでも学校がよくなればとの思いで、一生懸命活動しています。でも、それを守ったり、実際に行ったりしていくべき生徒の皆さんが、「自分くらいいいさ」とか「どうせわからんやろう」などと自分勝手な行動をとれば、学校（社会集団）はあっという間にルールやモラルが崩れてしまい、面白くない場所に変化します。

後期を迎えた今だからこそ、「自分くらい」から「自分だけでも」の思いになって、日々の生活を自分も他の人も楽しくなるようにしてほしいと願っています。

公立高校説明会が実施されます。

10月13日（水）～10月15日（金）の3日間、本校生徒が多く希望する県北にある公立高校の学校説明会を実施します。中学校単独で、高校の先生方に来ていただく形式での学校説明会が少なくなっている昨今ですが、公立高校入試が大きく変わった今だからこそ必要であると判断し、実施するに至りました。

2年生も次年度の参考とするために参加します。

多くの保護者をお招きしたいところでしたが、今回はコロナ対策もあり3年生の保護者のみと限定させていただきました。ご理解ください。

なお、18日（月）には、2年生対象の私立高校説明会も実施します。

参加高校

13日（水）松浦高校 清峰高校
14日（木）佐世保北高校 佐世保西高校
佐世保工業高校 鹿町工業高校
15日（金）佐世保商業高校 北松農業高校



